

8月16日（土）			
		第1会場（503講義室）	第2会場（502講義室）
	10:00 － 11:00	評議員会	
12:00－ 13:00		受付	
13:00－ 14:00		総会・各賞受賞式	
口頭発表1		座長：磯崎哲夫	座長：平松和彦
1	14:00 － 14:15	地域の地学的素材を活用した火山灰噴出実験装置の開発 －樽前山1739年噴火の広域火山灰－ ○亀村祐斗(北海道教育大学大学院)・片岡 涼・土肥優子・山野恭輔・佐藤鋭一(北海道教育大学旭川校)	観察方法の違いによる地層の観察結果の違い ー実際に野外観察を行った場合と学習者用端末を用いて地層の写真の観察を行った場合との比較ー ○三次徳二(大分大学)
2	14:15 － 14:30	火山が身近にあるかないかについてのアンケート調査と広域火山灰を用いた火山災害授業の提案 ○佐藤鋭一(北海道教育大学旭川校)	高校「地学基礎」における神奈川県「教室で行う野外実習教材」の評価 ○藤原 靖(神奈川県立相模原弥栄高等学校)
3	14:30 － 14:45	断層形成実験とその教育効果 ○香東卓郎(獨協埼玉中学高等学校)	高等学校地学教科書に見られる「上と下」と地層の「上位と下位」の混同 ○星 博幸(愛知教育大学)
4	14:45 － 15:00	タイ王国の科学高校における地震波形成教材と地震計観測網の構築 ○岡本義雄(元大阪教育大学・附属高等学校天王寺校舎)	高等学校地学の成立に関する考察Ⅴ ー1961年必修「地学」誕生ー ○清水政義(元東京都立府中西高等学校)
5	15:00 － 15:15	地学・生物の領域横断的な学習としての砂浜海岸 ー地学の学習活動に焦点を当ててー ○小久保慶一(釧路工業高等専門学校)	初等教員養成課程幼児教育プログラムの大学生に対する日光写真を用いた活動実践 ○棟上俊二(福岡教育大学)
6	15:15 － 15:30	水路で波を起こして行う沿岸域の地層形成実験と地層断面図作成 ー中学校における授業実践による評価ー ○廣木義久(大阪教育大学)・印南 航(大阪教育大学附属天王寺中学校)	教職課程における地質野外実習での反復観察の教育的意義 ー同一フィールドでの2回実施した地質野外実習のレポート分析を通してー ○小荒井千人・荒川忠彦・山口 寛・林 慶一・松本邦勝(甲南大学)
15:30－15:40		休憩	
口頭発表2		座長：佐藤鋭一	座長：小荒井千人
7	15:40 － 15:55	梅雨前線に伴う大雨による気象災害に関する学習の授業開発 ○吉本直弘・橋本虎太郎・森 杏実果(大阪教育大学)	地域の地質資源を活用した教育普及活動 ー兵庫県立人と自然の博物館における「ジオの教室」の例ー ○生野賢司・田中公教・池田忠広(兵庫県立人と自然の博物館・兵庫県立大学自然・環境科学研究所)・加藤茂弘・三宅優佳(兵庫県立人と自然の博物館)・長野あかね(兵庫県立人と自然の博物館・兵庫県立大学自然・環境科学研究所)・半田久美子(兵庫県立人と自然の博物館)・廣瀬孝太郎(兵庫県立人と自然の博物館・兵庫県立大学自然・環境科学研究所)
8	15:55 － 16:10	「令和6年9月能登半島豪雨」災害と小学校理科学習での自然災害の取扱い方 ー鳳至川および河原田川の河川特性からの教訓ー ○山下浩之(岡山理科大学)	群馬県立自然史博物館における地質分野の多様な教育 ○菅原久誠(群馬県立自然史博物館)
9	16:10 － 16:25	地域に応じた自然災害に関連した学習プログラム開発への一考察 ー伊豆大島での小・中一貫の火山防災教育プログラム作成を通してー ○佐藤真太郎(京都ノートルダム女子大学)	氷晶と太陽柱に関する演示実験 ○平松和彦・本部哲矢(土別市立博物館)
10	16:25 － 16:40	中学校における津波実験実習が防災意識向上や河川逆流災害の理解に与える効果 ○印南 航(大阪教育大学附属天王寺中学校)・榊原保志(信州大学)・岡本義雄(元大阪教育大学・附属高等学校天王寺校舎)・三橋 礼(大阪教育大学附属天王寺中学校)	河川教育における十勝石の教材化 ー十勝川流域での十勝石の調査からー ○館 英樹(土幌町立中士幌小学校)・山内拓也(本別町立勇足小学校)・境 智洋(北海道教育大学釧路校)
11	16:40 － 16:55	簡易ルーブリックを用いた中学校理科における防災学習の評価 ー災害に対する態度・スキルを中心にー ○林 武広(広島大学名誉教授)・トゥスワディ(バンジャラヌガラ公立中)・藤川義範(元スマラン国立大学)・中西裕也(新潟大学)・中村 勝(広島大学附属三原中学校)・龍岡寛幸(広島大学附属東雲中学校)・磯崎哲夫(広島大学)	へき地・小規模校における河川教育の実践化について ーサケの皮で作るアイヌの人々の靴づくりを通してー ○山内拓也(本別町立勇足小学校)・館 英樹(土幌町立中士幌小学校)・境 智洋(北海道教育大学釧路校)
12	16:55 － 17:10	食育と地学教育 ○磯崎哲夫(広島大学)・磯崎尚子(富山大学)・林 武広(広島大学名誉教授)	2024年能登半島地震における津波浸水域の解析 ○西澤健二郎・大堀道広(滋賀県立大学)
17:10－17:20		休憩	
	17:20 － 18:20	講演 釧路炭田一道内初の炭鉱・国内最後の炭鉱 石川孝織（釧路市立博物館 学芸員）	

18:45 懇親会（別会場）

8月17日（日）			
8:30		開場	
		第1会場（503講義室）	第2会場（502講義室）
9:00-10:30		401講義室にてポスター発表・ジュニアセッション→	
口頭発表3		座長：森 厚	座長：富田晃彦
13	10:45-11:00	3Dプリンタ地形図を用いた融雪型火山泥流に対する防災学習 ○田口瑞穂・山下清次(秋田大学)	カンボジア小学校における惑星ペーパークラフトモデル製作実習 ○榊原保志(信州大学)・Vanda KOY・Kasya SOK・Chao TOLA(Svey Rien PTTC Cambodia)・小泉治彦(東京理科大学)
14	11:00-11:15	3Dプリンターを用いた可搬型地形模型の製作と地学教材としての活用 ○長野あかね(兵庫県立大学自然・環境科学研究所・兵庫県立人と自然の博物館)・加藤茂弘(兵庫県立人と自然の博物館)・生野賢司・田中公教・池田忠広(兵庫県立大学自然・環境科学研究所・兵庫県立人と自然の博物館)	科学史から見つめ直す望遠鏡での月の観察体験の必要性 ○中山雅茂(北海道教育大学釧路校)
15	11:15-11:30	VR教材の有効性 ―不整合露頭の観察― ○間處耕吉(広島文化学園大学)・吉富健一(広島大学)	隕石中に含まれる太陽系最古の物質を使った学習教材の開発 ○毛穴大翔・平川尚毅(大阪教育大学)
16	11:30-11:45	3DCGを利用したバーチャル城ヶ島教材の作成と授業実践に基づいた評価 ―教室で現地の地層を再現する効果― ○飯田和也(武蔵野大学)	正中出没図による読解力の向上と師資相承 ○大辻 永(東洋大学)
17	11:45-12:00	物理探査における専門家連携が学習意欲向上と実践的知識獲得に与える効果 ○井上貞行(早稲田大学高等学院)・志賀信彦(三井金属資源開発株式会社・物理探査学会)・小森省吾(産業技術総合研究所・物理探査学会)	NASE教材（太陽の動き・星座の動き）を活用した授業について ○大友幸子(山形大学)
12:00-13:00		閉会行事・表彰式	

14:00-16:00 ワークショップ（於：釧路市立博物館）

401講義室			
9:00-10:30：ポスターセッション			
ポスター		ジュニア	
17-P1	日本地学教育学会第78回全国大会（大分大会）参加者が考える地学教育の課題 三次徳二(大分大学)	17-J1	太陽像を用いたシーイングの測定 赤尾柚香・落合咲輝(東京都立富士高等学校)
17-P2	茨城県那珂台地の地形 西連地信男(東海村立白方小学校)	17-J2	河川津波対策としての遊水池の可能性の検証 和泉璃衣子・加藤那智・久保田樹・森田純平・高橋輝真(宮城県多賀城高等学校)
17-P3	ガラス板法で採取した流星塵候補の流星塵としての信頼性の検討 ―複数地点での採取による流星塵候補の計数から― 富田晃彦・下垣七海(和歌山大学)	17-J3	地球の動きが示すラランド21185の距離 山田紗音・小川皓大・林あい(福岡工業大学附属城東高等学校)
17-P4	AR技術を活用した立体感覚の涵養を目的とする地学教材の開発 森 厚(桜美林大学)	17-J4	風と天気に関連性について～観天望気を通して～ 鶴田萌々果・後藤沙雪(福岡工業大学附属城東高等学校)
17-P5	カンボジアにおける小学校理科教師用指導書と太陽観察実習の開発 榊原保志(信州大学)・長沼健(愛知教育大学)		
17-P6	3Dデータ化した標本で作成した化石レプリカ教材の実用性の検討 小荒井千人(甲南大学)		
17-P7	安価なMI半導体地磁気センサを用いた2025年磁気嵐の観測 岡本義雄(元大阪教育大学・附属高等学校天王寺校舎)・室井 勲(元大阪府科学教育センター)		